

支援を受け続け、34年。 地域の伝統文化・産業を取り入れた学校応援団活動

埼玉県三郷市

活動名

三郷市立高州東小学校学校応援団

関係する学校

三郷市立高州東小学校

活動区分		※H25年度の実績(補助の有無についてはH26年度の状況)			
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター数	子供の平均参加人数	開始年度	補助の有無
	学校支援地域本部	コーディネーター数 1人	ボランティア登録数 101人	開始年度 20年度	補助の有無 有
	放課後 子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
		実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティ・スクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数	

活動の概要

学校応援団は大きく4つのグループからなる。①学習支援を行うグループ。活動は、放課後・長期休業中に補習授業として学習の深化補充を教員とともに行う。年間計画に位置づけ、のべ回数は1年で140回を超える。児童の学力向上と地域住民とのふれあいも図られる。この他に、藍染め教室・農具体験なども担当する。②読書活動を深めるためのグループ。活動は朝の読書タイムの読み聞かせを担っている。年間ではのべ150回を超える。さらにお話会、紙芝居、本の補修、図書館の椅子カバーの作成、アルミ缶回収での本の購入などを行っている。③登下校の安全見守りを担当するグループ。活動は主に下校時を中心に、交差点ごとに安全指導を毎日実施している。児童は見守り隊と挨拶を交わし、社会性を身につけている。④学校ファームを中心とする学校緑化を支援するグループ。学校ファームは校外に300坪の農地からなる。畑の耕耘から作付け、作物の選定、畝立て、収穫、調理までを支援している。また、校内の花の栽培にも貢献している。

活動の経緯

34年前の開校当初から現コーディネーター(初代PTA会長)を中心に地域住民が学校を支援し続けてきた。平成20年から組織として活動している。

● 特徴

【特徴的な活動内容】

特徴的な活動は、①34年間にわたる地域住民からの支援活動。初代PTA会長を中心にPTAのOB会が継続的に地域とともに学校を応援している。②地域の伝統産業を取り入れた活動。地域の伝統産業の型紙を使った藍染めや、地域で使われていた農具や民具を再生し、子供たちが実際に使って先人の知恵や努力を学び、郷土愛を育んでいる。③学校応援団が児童のみならず、地域住民へ学習機会の提供を行い学校を核として地域の交流が深まっている。④地域の多くの諸団体とも連携して活動を進めている。たとえば、校庭整備には200人余がボランティアで重機も含めて参集した。これは諸団体の支援を受けている結果である。⑤児童が幅広い体験活動を行っている。学校内・学校外を問わず、学校応援団の支援を受けて、豊かな体験活動を展開し、心を育んでいる。

【実施に当たっての工夫】

- ①常に学校と応援団との情報交換を行う。本の読み聞かせ、学習補充教室、下校見守り、学校ファーム作業など、その都度、学校職員が感謝を示し、その場で情報交換を行う。
- ②児童にも、日頃からお世話になっている応援団の方々に挨拶や感謝の意を示すよう継続的に指導する。また年度末には謝意を表す感謝の会を実施している。
- ③「地域」を念頭に、実施している。たとえば地域の伝統産業であったり、地域の農業であったり、地域の人々との交流であったり。児童の郷土愛の育成に努めている。
- ④地域から支援いただくだけでなく、地域に返していくことを実施している。たとえば地域住民対象の藍染め教室の実施などである。
- ⑤地域と児童の交流について「食」とおして行う。夏野菜カレー作りや芋煮会を実施している。



応援団の指導で伝統産業の藍染め・卒業記念ハンカチ



応援団の支援でタスキの糸車体験・校庭整備

● 事業を実施して

- ①地域と学校の連携が深まり、多くの情報が集まり、児童の健全育成に役立っている。
- ②学校に環境整備が進んだ。図書館の椅子カバーがついたり、廊下の壁面に壁画が描かれたり、校内に花が増えたり、児童が活動できる300坪の学校ファームができた。
- ③児童と地域住民との交流が増え、挨拶の上手な児童が増えた。
- ④児童の学力が向上した。応援団による読書活動の推進や、補充学習の成果である。
- ⑤地域に開かれた学校となった。多くの方が来校し、地域の教育力が学校に流入した。
- ⑥児童の豊かな心が育まれた。落ち着いた授業態度、協力しあう諸活動に現れている。

● その他

- ①第一に地域に根ざした活動を目指している。地域の方々と、地域に関する学習を行い、児童の郷土愛を育んでいる。
- ②地域への学習機会を提供するよう努めている。